



# やえがきたより



令和4年12月号



発行

東部農業事務所家畜保健衛生課  
(東部家畜保健衛生所)

〒373-0805

群馬県太田市八重笠町361-3

電話：0276-45-2041

FAX：0276-45-9994

## ＜記事の内容＞

- ・ 豚熱ワクチン接種日齢について
- ・ 農場のバイオセキュリティ強化のポイント

## ◆豚熱ワクチン接種日齢について

子豚の豚熱ワクチン接種適期の日齢は、各農場の母豚群の免疫状況によって変わってきます。県内一律に接種日齢を設定できないので、今の接種日齢がきちんとワクチンの効き目がある日齢で接種できているか、農場ごとに確認するための検査を進めているところです。

豚熱ワクチンは生ワクチンなので、接種日齢が早すぎると、母豚からの移行抗体にワクチン内のウイルスが負けてしまい、ワクチン抗体を作れず、出荷まで無防備な状態が続いてしまいます。逆に接種日齢が遅すぎて移行抗体がほとんどない状態だと、ワクチン抗体は確実に作れますが、ワクチン接種までに野外感染してしまう危険があります。豚熱ワクチンは子豚の移行抗体価が32倍前後となる時期に接種するのが望ましいとされており、移行抗体価は母豚の抗体価に影響を受けます。

初乳摂取直後の子豚が母豚からもらう移行抗体価は母豚の抗体価と同じです。移行抗体価は約11日で半分の量になります。たとえば中和抗体価が256倍の母豚から生まれた子豚は30日齢頃、512倍の母豚から生まれた子豚は40日齢頃が接種適期となります。

母豚の抗体価	子豚の抗体価（移行抗体）				
	出生時	10日齢	20日齢	30日齢	40日齢
256	256	128	64	32	16
512	512	256	128	64	32

同じ      半分      半分

## ◆農場のバイオセキュリティ強化のポイント

農場内に豚熱ウイルスを持ち込んでしまう原因として、人・車・野生動物などがあります。衛生管理区域内に入る車両は動噴などでよく消毒し、衛生管理区域専用・各豚舎専用の衣服・長靴に交換することで、持ち込むウイルスの数を減らすことができます。全ての対策を完璧にできればいいのですが、難しい場合は**まず出来ることから順番に、毎回確実に実施しましょう**。管内の実際の取り組み例を写真でご紹介します。

### ①衛生管理区域内にウイルスを持ち込まない

#### ●車・人の対策

衛生管理区域内に車が入る場合は動噴で車全体・タイヤ回りをよく消毒し、運転手は専用衣服・長靴に交換しましょう。石灰帯のみの消毒では車の地面に接する部分しか消毒できません。運転席のハンドル回りやペダルもアルコールスプレーなどでよく消毒しましょう。

飼料タンクが道路沿いにある場合はヒモでタンクを開閉できるようにすると飼料業者が衛生管理区域に入らなくて済みます。

#### ●野生動物対策

いのしし対策のメッシュ柵にさらに板など設置することでいのししからの豚熱ウイルスが衛生管理区域内に入りづらくなります。

豚舎で使用する井戸水は消毒しましょう。深い井戸でも大雨などの時は、豚熱ウイルスに汚染されている可能性のある地表の水が、井戸内に流れ込む可能性があります。



タンクにヒモを設置し、衛生管理区域外から開閉できるようにした例。



井戸水の配管に消毒のための塩素投入装置（矢印）を設置した例。



既存の野生動物対策メッシュ柵に追加で板を設置した例。

## ②畜舎内にウイルスを持ち込まない

### ●人・豚の移動

豚舎に前室を設置すると豚舎専用衣服に着替えやすくなります。基礎の上に木造で建築する、既存の物置に追加で扉を設置して通り抜けられるようにして設置する、などの方法の他、屋根とブルーシートで簡易な前室を作ることできます。

元からの豚舎間通路があれば壁と屋根を付けて屋内通路にしましょう。豚舎を出入りする回数が減り、豚熱ウイルス持ち込みのリスクが減ります。また、豚も屋内を歩いて移動できるので、豚熱ウイルスと接触するリスクが減ります。

豚の移動用カゴは網でなく隙間がない板などにしましょう。せっかく豚は地面を歩かないように対策していても、網のカゴだとフォークリフトなどのタイヤから泥はねし、地面にいる豚熱ウイルスが豚に接触するリスクがあります。下面・背面を含めてカゴの四方をコンパネなどで覆って豚に泥がつかないようにしましょう。

### ●野生動物対策

豚舎の隙間はネズミの侵入路になります。隙間は板、網、シートなどで塞ぎましょう。



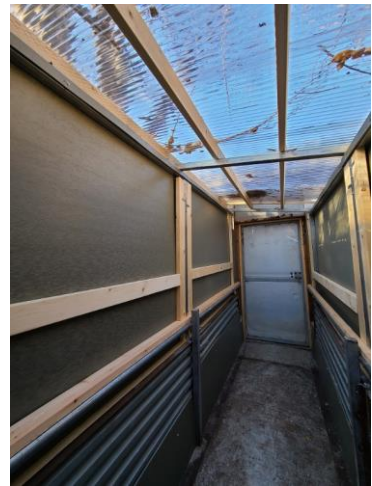
《前室》  
基礎の上に木造で建築した例。



《前室》  
物置に扉を追加して設置した例。



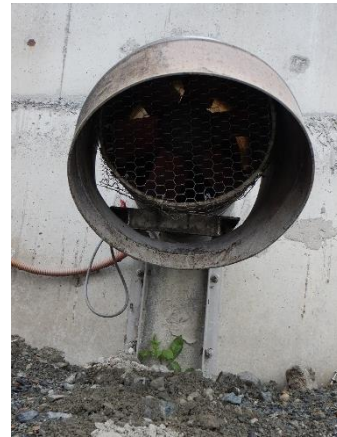
《前室の中》  
一度腰掛け、更衣前後の交差をなくすためのベンチシートの例。  
色や線などで明確にゾーンを分けて交差をなくす方法もよい。



《豚舎間通路》  
もとからあった通路に再生プラスチック板の壁と、  
透明波板の屋根を設置した例。  
上：外から見た通路 右：中から見た通路



豚舎入口ドア下の隙間をマット  
(黄色の丸部分)で塞いだ例。



地面に近い通気口を  
金網メッシュで塞いだ例。

**《疾病等の発生に伴う休日等の対応について》**

休日等であっても家畜の異常等が認められた場合は、  
「家畜保健衛生課あて」下記まで連絡をお願いします。

**電話番号 0276-45-2041 (24時間対応)**

- ※ 「やえがさだより」は、群馬県ホームページにも掲載しています。ご活用ください。
- ※ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、家畜保健衛生課までご連絡ください。